

2024年3月の行事予定表

| | | | | | |
|----|---|----------------|----|---|----------------|
| 1 | 金 | 世界祈祷日（日基蕃山町教会） | 16 | 土 | |
| 2 | 土 | | 17 | 日 | 塩崎師（水島教会） 各会例会 |
| 3 | 日 | 永松師・聖餐式 役員会 | 18 | 月 | |
| 4 | 月 | | 19 | 火 | |
| 5 | 火 | | 20 | 水 | 春分の日 |
| 6 | 水 | | 21 | 木 | 祈祷会 |
| 7 | 木 | 祈祷会 | 22 | 金 | |
| 8 | 金 | | 23 | 土 | |
| 9 | 土 | | 24 | 日 | 奨励 |
| 10 | 日 | 奨励 | 25 | 月 | |
| 11 | 月 | | 26 | 火 | |
| 12 | 火 | | 27 | 水 | |
| 13 | 水 | | 28 | 木 | 祈祷会 |
| 14 | 木 | 祈祷会 | 29 | 金 | |
| 15 | 金 | | 30 | 土 | |
| | | | 31 | 日 | イースター礼拝 永松師 |

3月お誕生・洗礼記念日の皆様おめでとうございます。

編集後記

- ◇ 3月号の編集に加わることが出来、感謝に堪えません。一年前の春、岡山を去ることになり、証しをさせていただいた最後に「この一年の教会の歩みが、後で振り返った時に、この時があったから今がある、と言える一年となりますように！」と願いを込めて祈りました。それは離れてもずっと私の中の祈りでした。
- ◇ 無牧の一年を経て、大月先生を迎えることが決まったその記事を組み込みながら、主が何と岡山教会を愛されていた事かと感動します。
- ◇ 「これは権勢によらず、能力によらず、私の霊によるのである。」ゼカリヤ 4：6 多くの方のご奉仕によって支えられた一年でしたが、何より神様の霊により守られた一年であったことに感謝したいです。

教会月報 2024年3月 No.394

岡山ナザレン教会 月報編集委員会

できる限りの愛を

(前略)イエスがベタニアで重い皮膚病の人シモンの家において、食事の席に着いておられたとき、一人の女が、純粋で非常に高価なナルドの香油の入った石膏の壺を持ってきて、それを壊し、香油をイエスの頭に注ぎかけた。そこにいた人の何人かが、憤慨して互いに言った。「なぜ、こんなに香油を無駄遣いしたのか。この香油は三百デナリオン以上に売って、貧しい人々に施すことができたのに。」そして彼女を厳しくとがめた。(中略)イエスは言われた。「この人は出来るかぎりのことをした。つまり、前もってわたしの体に香油を注ぎ、埋葬の準備してくれた。はっきり言うておく。世界中どこでも、福音が宣べ伝えられる所では、この人のしたことも記念として語り伝えられるだろう。 マルコ福音書 14章1～11節

私たちの世界を覆う罪の暗闇のまっただ中で輝いて、すべての人を照らす光。そういうイエス様の姿を今日の聖書の物語もまた描き出しています。イスラエルの指導者たちはひっそりと集まって、イエス様を殺す計画を練っていました。12人の使徒の一人だったユダは、イエス様を裏切って敵に引き渡すことを選びました。罪の暗闇が広がって深まりつつある中で、重い皮膚病の人の家で食卓を囲んでいたイエス様の頭に、一人の女性が高価な香油を注ぎます。他の人たちには無駄でもったいないことだとしか思えない、でも彼女にとっては精いっぱい愛の行動を、イエス様は「良いこと、美しいこと」と呼んで、福音と共に語り継がれるものとされました。一時は罪の力が勝ったように見えても、そこで勝負は終わりじゃありません。どんなに小さくて不完全でも、私たちが精いっぱい愛を行うなら、イエス様がそれを用いて、この世界の罪闇を照らす光に変えてくださるのです。

～野村 友美牧師(呉教会)：岡山教会2月18日礼拝説教要旨～

 礼拝後、野村先生は、会堂二階へ上がり、
 「二階に上がったのは初めて。パイプオルガンで
 賛美するのはとても嬉しかったです。」と言われ、
 しみじみと会堂全体を見渡しておられました。



2月25日(日)礼拝後の11:20より、2024年度役員選挙を含む四議案の臨時教会総会がおこなわれました。議長は書記役員の K.Y.兄(書記補:E.S.兄)。A 会員の出席は13名、委任状20名、欠席2名にて総会成立(ほかにオブザーバー2名)。

速報 臨時教会総会

- 一号議案：新年度責任役員として S.K.兄、E.S.兄を挙手にて信任。
- 二号議案：各会会長は自動的に役員となる旨を挙手にて承認。
壮年会：E.S.兄、女性会：H.K.姉。(青年会は活動停止中)
- 三号議案：役員三名の任期満了に伴う選挙。9名の候補者から投票によって、D.T.姉、K.Y.兄、A.Y.姉の三名が選出。
- 四号議案：岡山教会新任牧師として教団本部より大月康子師(奈良西和教会)が任命され、全会一致で承認。
(大月康子師は4月1日をもって着任)

最後に永松師のお祈りをもって、11:40に臨時教会総会を終りました。新年度の教会の歩みのために共に祈ってまいりましょう。



岡山2.11平和集会に出席して

永松 清 師

「今だから、改めて見つめたいわたしたちの信仰と社会のつながり」

- ◇日時:2024年2月12日(祝)
- ◇講師:松浦悟郎 司教(カトリック名古屋教区司祭)
- ◇会場:日本キリスト教団岡山教会(表町)

講師は「信仰者とはどうあるべきか」ではなく、現実が私の信仰を問う。「現代、世界で惨劇が繰り返される中、この時代に生きる私たちキリスト者には何が問われているのかを考えたい。」と講師は聴衆に問いかけられた。

キリスト教の信仰は社会とのかかわりの中で育まれていくものである。現状を改革するには大きな力が必要であるが、わたしたちは小さな者である。しかし、祈りがある。そして、キリストによる平和に思いをいたす時、希望が見えてくる。

文明が減びるのは外敵ではなく、原因は自らの中にあつたと歴史は指摘する。キリスト教会にありがちな、教会内では社会や政治の話をする傾向にあるが、「キリスト者の平和」に関しては、現実の社会問題に関心を寄せ、現実にとどのように向き合うかが大切である。「現実から出発して、完全な平和に向かって歩み続ける主義」こそ大切と言える。

イースター(復活祭)を学ぼう!

コードレス掃除機登場

以下松浦悟郎司教の資料より～現実を知る具体例～

- ① 原発問題、トリチウムを含む処理水の問題・・・報道によって一般的に受け止められている内容は、「これ以上汚染水を保管できない。薄めれば基準に合致する。他国もやっている」現実はどうか。
- ② 日米地位協定の考え方・・・矢部宏治「知ってはいけない 隠された日本支配の構造」(講談社現代新書)
- ③ 防衛費増額について・・・理由のひとつは、安倍政権が買い続けた米国兵器の「爆買い」に伴う「兵器ローン」の急増。
- ④ 相手からくる反論にどう答えるかの“ことば”の持つ大切さ・・・信仰からくる、いわゆる「絶対的平和主義」を掲げると、一般社会(心では信徒も)では絵空事として受け止められる。平和は「動詞」。完全な平和への道を止まることなく歩み続けるということ。



会堂掃除には、掃除機に長い延長コードをつないで行なってきましたが、2023年11月より「コードレス掃除機二台」を導入しました。毎月第4日曜日の礼拝後の会堂掃除ではコードレス掃除機が大人気で、コード捌きが無い分、掃除の所要時間もグッと短縮できています。

も、それを教えの中心には置けなかった。少なくともそのような奇跡を売り物にしなかった。そうではなく、キリストの言葉、キリストの十字架と復活の言葉を中心に置き続けてきた。ここに教会の真実がある」と。

本日、私たちに与えられている聖書箇所には、キリスト教会が最初から行なってきた礼拝の原点とも言える行為が記されています。二十七節『そして、モーセとすべての預言者から始めて、聖書全体にわたって、御自身について書かれていることを、説明された。』

エマオ途上の弟子たちは、彼らに聖書を解き明かしてくださいと交わりを強く求めました。そして、その交わり(編注:主イエスがパンを裂かれた)の中で心開かれて、主イエスのことを深く知ることが出来たのです。お姿が見えなくなったときに、彼らは語り合います。三十二節『道で話しておられるとき、聖書を説明してくださいと、わたしたちの心は燃えていたではないか。』そのときにはまだ分からなかった。鈍感といえば鈍感なのかもしれない。しかし、それでいいのではないのでしょうか。分かるべきが来るのを待つのです。私たちの信仰も、悟ることが遅くても、鈍くても、主の恵みを味わったときには、それを素直に喜び感謝するものでありたいと思います。

この二人は、その喜びを、直ぐに伝える人になりました。復活された主イエスとの交わりをしたことを、その喜びを知らせるために、彼らはすぐさま立ち上りエルサレムへ戻ったのです。

(希望誌二〇二三年度成人科テキスト三月三十一日 古川修二先生記より 一部転載ナザレン教団本部許諾済み)

